



〒975-0031
福島県南相馬市原町区錦町一丁目 30 番地
TEL:(0244)26-1315
FAX(0244)26-1318
E-mail:sousou.kyouiku@pref.fukushima.lg.jp

地域学校協働活動訪問（訪問日：10/6）

プレイスポットそうま（相馬市立中村第一小学校）
はまっこ教室（相馬市立中村第二小学校）

プレイスポットそうま月曜日コース

活動日時・・・毎週月曜日 14:00～16:00（2時間）
参加児童・・・中村第一小学校の3～6年生 34名
スタッフ人数・・・6名（そうま中央スポーツクラブの会員を中心としている）
活動場所・・・中村第一小学校体育館



地域の皆さんの力で

相馬市立中村第一小学校では、週に2回の放課後子ども教室が開催されています。実施場所は小学校の体育館です。中村第一小学校は大きな規模の学校なので、月曜日は3～6年生、水曜日が1～2年生と分かれての活動となっています。以前は学校の近くのスポーツアリーナで実施していたのですが、距離の関係や震災でアリーナが使えなかったことなどの事情から、小学校の体育館に舞台を移しての活動となっています。

スタッフは6名の方々と、月曜日と水曜日を兼任している方もいます。また、10年以上携わっている方もいますし、新たに若い保護者の方がスタッフとして参加してくれるようになっています。地域のボランティアの力が大切です。



体力向上を放課後にも

「プレイスポットそうま」という名前のとおり、放課後子ども教室の主な活動は、体育館での自由遊びです。訪問当日、前半はそれぞれが自由に遊んでいました。スタッフとバドミントンや卓球をしたり、追いかけっこや走り回ったりして十分に体を動かしていました。途中勢い余って危険な場面になりそうな時は、スタッフが声をかけて未然に防止していました。話によると、絆創膏で済むような小さなけがはあるけれど、今まで大きなけがは無いということでした。

時間が経つと、自然と大きな集団となり、ドッジボールが始まりました。6年生を中心に、4年生や5年生も加わって楽しく体を動かしていました。3年生も隣で、スタッフを交えてのドッジボールを楽しんでいました。

放課後子ども教室の日は、スタッフとしても体を動かすことができ、いい運動になっているとのことでした。また、家族にはいない年齢の子どもたちとの活動は、何物にも代えがたいということで、スタッフをやっている良かった点だそうです。



16時になると多くの子が汗をかき、みんな爽やかな笑顔になっていました。2時間の活動時間を通して、子どもたちはかなりの量の運動をしていました。「疲れませんか？」と聞いたところ、「自分のペースで休憩したり、水分をとったりしているから大丈夫」とのことでした。スタッフの皆さんの温かい見守りの中で、自由に遊び、体力作りにもつながっている活動でした。活動場所のキャパシティやスタッフの数の関係で、参加人数が制限されてしまっているのが残念だということですが、これからも多くの子どもたちが楽しめる放課後の居場所作りを続けて欲しいです。



はまっこ教室

活動日時・・・毎週月曜日 13:35～14:20（40分間）

参加児童・・・中村第二小学校の1年生 21名

スタッフ人数・・・5名（8名のスタッフでローテーションを組んでいる）

活動場所・・・中村第二小学校体育館及び、放課後児童クラブとの共用スペース



スタッフの皆さんもつながっている

相馬市立中村第二小学校では、毎週月曜日に放課後子ども教室が開催されています。大規模な学校なため、1年生のみが対象になっています。

スタッフは8名の学区の方々に、開催日は5名体制で子どもたちの居場所作りをしています。経験のあるスタッフに加えて、近年は保護者の方もスタッフとして協力してくれるようになったことが大きいようです。

1年生の放課後の居場所づくり

参加者が1年生ということで、校舎に迎えに行くことから活動は始まります。校舎2階のホールにきちんと整列して待っている子どもたちは、そのまま並びながら体育館まで進みます。体育館に着くと、早速自分のやりたい遊びを始めます。ドッジボール、バレーボール、バドミントン、野球、大縄跳びと、それぞれが安全な距離を保ちながら活動しています。

体を動かさない子どもたちは、放課後児童クラブとの共用ルームで工作やビー玉を使った遊びをしていました。その場にもスタッフがついて活動しているので、1年生とスタッフの交流が行われています。ケンカになってしまう場面もありましたが、スタッフは叱るのではなく、動きを止めて「どうしてケンカになったの」と尋ねたり、お互いの気持ちを話させたりしながらクールダウンさせていました。子育てを経験しているスタッフならではの姿でした。

40分はあっという間に過ぎてしまいます。終了間際にインタビューしたところ、「とっても楽しかった」「もう来週が楽しみ」「ドッジボールをまたやりたい」という声を聞くことができました。そこには、放課後のひと時を思いっきり楽しむ子どもたちの姿がありました。



子ども教室と学校の協働活動

相馬市の放課後子ども教室では防災にも力を入れております。はまっこ教室も学校と協働して避難訓練を行ったこともあります。また、年度末には、学校の時間割や行事を計画する時には、必ず放課後子ども教室の活動を念頭に置いてくれているそうです。

週に一度ですが、放課後子ども教室での活動が、子どもたちの人間関係にも良い影響を与えています。これからも体験、交流といった多様な活動を続けていって欲しいです。



放課後子ども教室の未来は

今回のプレイスポットそうま（中村一小）、はまっこ教室（中村二小）の訪問を通して、共通していた課題は、スタッフ不足、スタッフの高齢化が挙げられます。地域で子どもを育てていこうという趣旨に賛同してボランティア活動をして下さっていますが、人材不足はここにもありました。

地域の方と子どもたちのつながりを生み出している放課後子ども教室は、学校を核とした地域づくりの一翼を担っております。小さなことでも末永く学校に関われる地域の力を、今後も大切にしていきたいです。

【今回掲載した写真は全て相双教育事務所のデジタルカメラで撮影したものです】

